

事業所名

放課後等デイサービス事業所  
キッズハウスピピ

支援プログラム

作成日

令和7年

3月

10日

法人（事業所）理念		「みんなのために、あなたのために、わたしのために」 社会福祉法、障害者基本法、障害者総合支援法などの手指に基づき、障害者の一住民としての地域参加と就労を進め、豊かな生活をおくる支援を地域福祉の向上に努めることにより、福祉サービス提供に携わる職員の自己実現と成長を目指していきます。					
支援方針		利用者一人ひとりの障がい特性や発達段階に応じて、利用者主体の個別支援計画を作成し、継続的かつ発展的な発達を目指し、療育プログラムを提供する。 様々な活動を通して、日常生活に必要な基本的な生活習慣の習得、自己肯定感や自己有用感の向上、コミュニケーション能力の向上や充実のために必要な総合的な支援を提供する。 利用者が家庭や学校以外でも、安全で安心して過ごせる居場所の一つとしての役割を担っている事を意識し、福祉サービスの提供を行う。					
営業時間		8時	30分	17時	30分	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	身辺自立、日常生活に必要な動作、行為の習得・・・手洗い、排泄、着替え、整容、歯みがきなどの援助 手洗いなど衛生面への意識付け 自分の体についてよく知り、自分で体調を確認する・・・検温、体調観察、体調チェックシートの活用					
	運動・感覚	室内で軽運動を行い、体力作り・・・クッショントランポリン、棒体操（コグトレ）、ボールを使った軽運動 屋外での遊びを通して、体力作り・・・屋外散策、サッカー 体の認知機能を高めるための運動を取り入れている					
	認知・行動	自立課題などを用いて、認知面の向上を図る・・・色の弁別、マッチング等 見通しを持って行動する・・・個別のスケジュール ソーシャルスキルトレーニングや集団遊びを通して、気持ちの切り替えを促す					
	言語 コミュニケーション	絵カードや写真カードを用いたコミュニケーションスキルの習得（PECS） 余暇活動の要求をする際、身振りサインなどを用いた要求の発出を促す支援 習得したコミュニケーションスキルは、家庭や学校と共有し、般化を目指す					
	人間関係 社会性	異年齢の集団遊びを通して、ルールやままりを意識した活動を行う・・・昔遊びなど ソーシャルスキルトレーニングを通して、望ましい人との関わり方を身につける・・・ソーシャルストーリーの活用 遊びや行事等を通して、社会生活を送る上で必要なスキルを習得する					
家族支援		支援内容を共有し、ご家族の困り事に寄り添った支援を行う			移行支援		小学校（小学部）から中学校（中学部）、中学校（中学部）から高等学校（高等部）への進学、高等学校（高等部）卒業後の就労に向けて、社会での生活に必要なスキルの習得を目指す
地域支援・地域連携		関係機関との連携を図り、地域での生活に活かせる支援を行う			職員の質の向上		毎月事業所内で研修を実施し、支援に必要なスキル習得を目指す 法人全体の研修を実施し、福祉サービス従事者としての資質向上を目指す
主な行事等		季節の行事（お花見、七夕、水遊び、ハロウィン、クリスマス、お正月遊び、節分、ひな祭りなど） お楽しみ会（買い物体験、運動会、おやつ作りなど） 外出（航空科学館見学、美術館作品鑑賞、作品展の見学など） 避難訓練（年に3回）					